

自己評価報告書

1. 学校自己評価実施者：鹿島朝日高等学校 教職員
 2. 評価対象期間 令和4年度（令和4年4月1日～令和5年3月31日）
 3. 評価基準「A：良好である」「B：特筆すべき改善点はない」「C：改善すべき点が見受けられる」
 ※対象の教職員の評価結果を集計し、「A」「B」「C」の最も多かった評価を記載している。（同数の場合は残りの評価を加味）

1. 学校運営

評価の視点		評価	割合		
			A	B	C
【教職員の配置】	実施校の校長は、本務・兼務を問わず、全ての実施校教員の免許を確認している。	A	71%	29%	0%
	添削指導・面接指導・試験・メディアを利用した指導等は、各教科・科目の有効な免許状を所持する実施校の教員が担当している。	A	71%	29%	0%
	学校事務に支障のない数の事務職員が配置されている。	A	100%	0%	0%
【連携施設との関係】	通信教育連携協力施設(学習等支援施設)と協力・連携を行う場合は、その協力・連携内容について、各設置者と文書による取り決めを行っている。	A・B	43%	43%	14%
	学習等支援施設の教員が兼務発令によって、実施校の教育活動を担う場合、その教員の業務内容を契約書等で明記している。	A	57%	43%	0%
	学習等支援施設を担当する教職員を定め、定期的に訪問して教育活動の進捗状況を把握し実施校の方針が徹底するよう指導している。	B	14%	57%	29%
	実施校の教育活動と学習等支援施設の教育活動を区別して、生徒・保護者に正確に説明している。	A	71%	14%	14%
	実施校の学納金と学習等支援施設の費用について、生徒・保護者に正確に説明している。	A	57%	29%	14%
【教員研修】	教職員の研修計画を策定し、計画的に実施している。	B	29%	43%	29%
【学校評価】	自己評価を実施し、結果を公開している。	C	0%	43%	57%
【情報公開】	個人情報の管理は、適切に行われている。	B	14%	86%	0%
【生徒募集】	実施校の校長の責任において合否を決定している。	B	29%	71%	0%
	編入学の場合、前籍教育機関の資格要件を確認している。	A	57%	43%	0%
【施設・設備・安全管理・表簿管理】	実施校の校舎面積は、適性である。	B	29%	71%	0%
	法定表簿等の管理は、適性に行われている。	B	43%	57%	0%
【高等学校等就学支援金】	就学支援金に関する事務処理は、適正に行われている。	A	57%	43%	0%
	就学支援金に関する生徒・保護者への説明は、適正に行われている。	A	57%	43%	0%

2. 教育課程

評価の視点		評価	割合		
			A	B	C
【教育課程の管理】	教育課程に関する法令に即して教育課程を編成している。	B	43%	57%	0%
	学則に、学校教育法施行規則第4条に基づく必要記載事項を記載している。	B	29%	71%	0%
	単位修得及び修了の認定は、校長及び管理職が規定に基づき認定している。	B	29%	71%	0%
	教科・科目等の指導は、年間指導計画に基づいて実施している。	B	29%	71%	0%
【添削指導】	学習指導要領に基づく標準回数を確保している。	A	71%	29%	0%
	1回あたりの添削課題の質と量は適正である。	B	14%	86%	0%
	年間を通して計画的に実施している。	A	43%	57%	0%
【面接指導】	学習指導要領に基づく単位時間数を確保している。	A	71%	29%	0%
	時間は、1単位時間を50分として計算した時間数になっている。	A	100%	0%	0%
	学則に面接指導等実施施設名が記載されている。	A	71%	29%	0%
	10分の8減免をする場合、対象者を内規で決めている。	A	71%	29%	0%
	「実時間減免」はしていない。	A・B	43%	43%	14%
	年間指導計画に基づいて実施している。	B	29%	71%	0%
	多様なメディアを用いた指導は計画的、継続的に実施するとともに適切な水準となっている。	B	29%	71%	0%
【試験】	試験は、添削指導、面接指導の終了後に実施している。	B	29%	57%	14%
【学校設定教科・科目】	1単位につき添削指導1回以上面接指導1単位以上実施している。	B	43%	57%	0%
【総合的な探求の時間】	1単位につき添削指導1回以上面接指導1単位以上実施している。	A	86%	14%	0%
【特別活動】	特別活動は、卒業までに30単位時間以上実施している。	A	86%	14%	0%
	メディアを利用した減免を行う場合は、学習指導要領の目的を十分に満たすよう、計画的に実施している。	B	43%	57%	0%

3. 生徒支援

評価の視点		評価	割合		
			A	B	C
【学習支援】	履修未登録、学習活動困難な生徒への支援体制が整備されている。	B	14%	71%	14%
【生徒支援】	いじめ防止の基本方針を策定している。	B	14%	86%	0%
【進路支援】	進路支援を担当する教職員を配置している。	B	29%	71%	0%
【教職員の配置】	多様な課題を抱える生徒一人ひとりに細かな指導ができる教員配置ができています。	B	0%	71%	29%